

(様式第9)

産医大収第90949号  
平成21年10月5日

厚生労働大臣 殿

学校法人 産業医科大学  
理事長 大石 明

産業医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

1. 高度の医療の提供の実績→別紙参照(様式第10)
2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績→別紙参照(様式第11)
3. 高度の医療に関する研修の実績  

研修医の人数	165 人
--------	-------
4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法(平成21年10月1日現在)  
→別紙参照(様式第12)
5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→別紙参照(様式第13)
7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	301人	1人	301.4人	看護業務補助	64人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	7人	0人	7.0人	理学療法士	10人	臨床 臨床検査技師	43人
薬 剤 師	30人	0人	30.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	2人	0人	2.0人	視能訓練士	3人	検査 そ の 他	0人
助 産 師	13人	0人	13.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	540人	9人	547.0人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	8人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	1人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	68人
管理栄養士	3人	0人	3.0人	診療放射線技師	28人	そ の 他 の 職 員	13人

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	543.5人	5.3人	548.8人
1日当たり平均外来患者数	1,442.7人	42.9人	1,485.6人
1日当たり平均調剤数		950.7 剤	

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児心超音波検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
人口括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジスロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
門脈圧亢進賞に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
鏡視下肩峰下控徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
膀胱腫瘍に対する腹腔鏡補助下膀胱切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
泌尿生殖器腫瘍の構腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膀胱水圧拡張術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
セメント固定人工股関節節置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・ <input type="radio"/> 無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
RET遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
強度変調放射線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション	有・ <input type="radio"/> 無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	4人
カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	71人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	21人
・多発性硬化症	31人	・ウェゲナー肉芽腫症	11人
・重症筋無力症	77人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	21人
・全身性エリテマトーデス	248人	・多系統萎縮症	14人
・スモン	5人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	36人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	49人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・原発性胆汁性肝硬変	25人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	155人	・重症急性膵炎	7人
・特発性血小板減少性紫斑病	32人	・特発性大腿骨頭壊死症	25人
・結節性動脈周囲炎	23人	・混合性結合組織病	48人
・潰瘍性大腸炎	107人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	15人	・特発性間質性肺炎	9人
・ピュルガー病	5人	・網膜色素変性症	17人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	2人
・脊髄小脳変性症	53人	・原発性肺高血圧症	4人
・クローン病	39人	・神経繊維腫症	7人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	42人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	161人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	4人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	41人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度	
剖 検 の 状 況	剖検症例数	39 例
	剖検率	15.6 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

(平成20年度分)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
デンドライトを起点とするストレスに対するサーベイランスとシグナルネットワーク形成	田中良哉	第1内科	9,300,000円	補 日本学術振興会科学研究費 委
単球系細胞におけるstat5の機能と自己免疫疾患制御の探索的研究	山岡邦宏	第1内科	1,600,000円	補 日本学術振興会科学研究費 委
老年期骨粗鬆症治療戦略確立の探索的研究～骨形成促進作用を持つ新規骨粗鬆症薬～	岡田洋右	第1内科	1,900,000円	補 日本学術振興会科学研究費 委
膠原病における抗転写因子抗体の網羅的解析を用いた新規治療戦略の開発	齋藤和義	第1内科	1,600,000円	補 日本学術振興会科学研究費 委
マスト細胞制御による自己免疫疾患の新たな治療戦略	澤向範文	第1内科	1,700,000円	補 文部科学科学研究費 委
樹状細胞Stat6制御による新規関節リウマチの治療の開発	花見健太郎	第1内科	1,600,000円	補 文部科学科学研究費 委
樹状細胞-T細胞相互作用における神経伝達物質の役割の解明とRA治療の新戦略	中野和久	第1内科	1,700,000円	補 文部科学科学研究費 委
関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究	齋藤和義	第1内科	350,000円	補 日本学術振興会科学研究費 委
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復療法の開発に関する研究	田中良哉	第1内科	21,000,000円	補 厚生労働科学研究費 委

9件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
膠原病の生命予後規定因子である肺合併症の診断及び治療法の再評価と新規開発に関する研究	田中良哉	第1内科	2,000,000円	補 厚生労働科学研究費 委
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	田中良哉	第1内科	700,000円	補 厚生労働科学研究費 委
関節リウマチの寛解導入体系化に関する研究	田中良哉	第1内科	2,500,000円	補 厚生労働科学研究費 委
免疫アレルギー疾患の予防・治療法の開発及び確立に関する臨床研究 関節リウマチ患者の生命予後からみた至適医療の確立に関する臨床研究	田中良哉	第1内科	2,000,000円	補 厚生労働科学研究費 委
自己免疫疾患に関する調査研究	田中良哉	第1内科	1,800,000円	補 厚生労働科学研究費 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	田中良哉	第1内科	2,000,000円	補 厚生労働科学研究費 委
関節リウマチの病態形成および発症メカニズムに関する分子の解析	田中良哉	第1内科	1,000,000円	補 田辺三菱製薬 委
関節リウマチの発症メカニズムに関する分子の解析	田中良哉	第1内科	1,876,580円	補 BaroFold, Inc. 委
虚血性僧帽弁逆流例における外科的弁輪形成術施行後の機能性僧帽弁狭窄	尾辻豊	第2内科	800,000円	補 日本学術振興会科学研究費 委

9件  
18件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
神経反射性失神の診断と病態に関する総合的研究	安部治彦	第2内科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
動脈硬化進展退縮におけるCX3CL1/CX3CR1の役割	田中正哉	第2内科	1,700,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究	尾辻豊	第2内科	1,500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
芦屋町における児童生徒の保健管理に関する調査研究	尾辻豊	第2内科	1,000,000 円	補 芦屋町 委
手技の効率化を目指した振動機能付内視鏡の開発	久米恵一郎	第3内科	2,400,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
肝細胞マロリ一体の形成、分解機構とその細胞生物学的意義	原田大	第3内科	1,800,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
難治性瘵疾患に関する調査研究	木原康之	第3内科	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
経頭蓋磁気刺激法を用いた神経因性疼痛治療法の開発	由比友頭	神経内科	2,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
反復磁気刺激によるパーキンソン病治療の確立	辻貞俊	神経内科	1,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委

9件  
27件



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
ジストニアの疫学、病態、治療に関する研究	辻貞俊	神経内科	700,000 円	補精神・神経疾患研究委託費委
てんかんに対する新たな治療法開設と標準化に関する研究	辻貞俊	神経内科	700,000 円	補精神・神経疾患研究委託費委
統合失調症の病態、治療薬への反応性、および副作用出現に関する分子遺伝学的研究	新開	神経・精神科	700,000 円	補日本学術振興会科学研究費委
血管型一酸化窒素合成酵素遺伝子多型のうつ病の病態への影響	吉村玲児	神経・精神科	1,000,000 円	補日本学術振興会科学研究費委
タバコ（ニコチン）依存との関係からみた喫煙行動に関する分子遺伝的研究	坂田深一	神経・精神科	700,000 円	補文部科学科学研究費委
リワークプログラムを中心とするうつ病の早期発見から職場復帰に至る包括治療に関する研究	中村純	神経・精神科	1,600,000 円	補厚生労働科学研究費委
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	吉村玲児	神経・精神科	2,800,000 円	補厚生労働科学研究費委
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	中村純	神経・精神科	1,100,000 円	補精神・神経疾患研究委託費委
早期精神病の予防、早期治療および病態解明に関する臨床的研究	中村純	神経・精神科	800,000 円	補精神・神経疾患研究委託費委

9 件  
36 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
アルコール依存症の病態と治療法の開発に関する研究	中村純	神経・精神科	600,000 円	補 精神・神経疾患研究 委託費 委
メタボリック症候群発症の背景としての脳脂肪細胞系の生後発達とその異常に関する検討	山本幸代	小児科	2,300,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
胎児期・出生後のストレスが脳内摂食調節機構に与える影響に関する研究	久保和泰	小児科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費 委
ヒト胃癌におけるイノシトール3リン酸受容体発現の意義とその重要性	柴尾和徳	第1外科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
イノシトール3リン酸受容体発現と大腸癌における転移、術前化学療法との関連について	平田敬治	第1外科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
金コロイド法を測定原理とする尿中ジアセチルスベルミン測定試薬の大腸癌における臨床性能試験	山口幸二	第1外科	394,860 円	補 關シノテスト アルフレッサファーマ 委
「Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究」第Ⅲ相臨床試験	山口幸二	第1外科	210,000 円	補 (財)先端医療振興財 委
生物学的特性からみた食道扁平上皮癌の新しい治療方針の確立	杉尾賢二	第2外科	2,300,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
肺癌浸潤B細胞が認識する腫瘍抗原の抗体療法への応用	水上真紀子	第2外科	2,100,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委

9件  
45件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
肺癌特異抗原を用いる特異的免疫療法の確立	安元公正	第2外科	1,600,000円	補 文部科学科学研究費 委
肺癌の免疫逃避機構の解明:HLA発現異常の面から	市来嘉伸	第2外科	700,000円	補 文部科学科学研究費 委
肺癌の転移進展に伴う細胞性免疫および液性免疫応答の解析	竹之山光広	第2外科	1,100,000円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
新規抗原蛋白デリバリーシステムによる多価性ワクチンの多施設共同臨床研究	安元公正	第2外科	7,000,000円	補 文部科学省 委
24時間心保存におけるRho-kinase inhibitorの心保護作用	江藤政尚	心臓血管外科	1,000,000円	補 文部科学科学研究費 委
クモ膜下出血後の脳血管攣縮に対する蛋白リン酸化酵素Cをターゲットにした創薬の研究	西澤茂	脳神経外科	1,600,000円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
悪性脳腫瘍における光感受性物質の放射線感受性増強効果の検討	山本淳考	脳神経外科	900,000円	補 文部科学科学研究費 委
骨・骨髄損傷後の修復過程における骨と血管のシグナルネットワークの解明	酒井昭典	整形外科	1,600,000円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
アルコール及び脂肪摂取による骨・骨髄機能連関障害の解明と防止法の開発	中村利孝	整形外科	4,400,000円	補 日本学術振興会科学 研究費 委

9件  
54件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
高齢者の生活の質を低下させる筋骨格系退行変化の危険因子分析	成澤研一郎	整形外科	500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
関節炎発症における中枢・末梢応答の遺伝子改変動物を用いた可視的評価と病態解明	大西英生	整形外科	1,200,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
エストロゲン欠乏マウスに対する高脂質食投与が骨代謝におよぼす影響を明らかにする	田中伸哉	整形外科	900,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
時間特異的及び組織・細胞特異的ノックアウトマウスを用いた骨再生過程の解明	中村英一郎	整形外科	900,000 円	補 文部科学科学研究費 委
FGF23シグナルを分子標的とした歯・骨疾患治療のための基礎的研究	内田宗志	整形外科	60,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
高齢者の腰痛に及ぼす脊柱変形、生活習慣要因および生活習慣病の影響と相互作用の解明	中村利孝	整形外科	12,160,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
骨粗鬆症性骨折の実態調査および全国的診療データベース構築の研究	中村利孝	整形外科	500,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
エクリン汗腺のlabel retaining細胞の同定と汗腺の再生治療の開発	中村元信	皮膚科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
かゆみ過敏に関わるセマフォリン3a産生の表皮と真皮での相反性	戸倉新樹	皮膚科	1,900,000 円	補 文部科学科学研究費 委

9件  
63件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
光老化による一酸化窒素合成酵素欠損時酸化ストレスマーカーの変動	織茂弘志	皮膚科	500,000 円	補 文部科学科学研究費 委
なぜ白癬菌は表皮角層内に存在するだけで炎症を惹起するのかー自然免疫から探るー	小林美和	皮膚科	900,000 円	補 文部科学科学研究費 委
NOおよびNOSの接触皮膚炎における生理的意義とその役割の解明	杉田和成	皮膚科	1,500,000 円	補 文部科学科学研究費 委
成人T細胞性白血病リンパ腫患者におけるPD-1, PD-L1, 2発現の検討	島内隆寿	皮膚科	1,000,000 円	補 文部科学科学研究費 委
植皮部における接触皮膚炎感作抑制メカニズムの解明	吉木竜太郎	皮膚科	1,600,000 円	補 文部科学科学研究費 委
制御性T細胞局所投与による円形脱毛症治療法の開発	中村元信	皮膚科	400,000 円	補 文部科学科学研究費 委
金属アレルギーの克服へ向けた効果的診断・予防・治療法の開発研究	戸倉新樹	皮膚科	3,800,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
培養表皮細胞の活性化評価系の構築とKP-413の作用解析	戸倉新樹	皮膚科	1,650,000 円	補 科研製薬協 委
ケトプロフェンの光線過敏症メカニズム解明に関する研究	戸倉新樹	皮膚科	1,000,000 円	補 久光製薬協 委

9件  
72件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元及び委託元
節食関連ペプチドおよびエストロゲンによる膀胱機能の調節	野村昌良	泌尿器科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
膀胱知覚および組織障害に対する一酸化窒素の役割	松本哲朗	泌尿器科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
性感染症に関する特定感染症予防指針の推進に関する研究	松本哲朗	泌尿器科	2,000,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
クランベリーを含む市販の食品サプリメントの生体外および生体内における大腸菌 <i>Escherichia coli</i> の尿路疾患性株に対する抗付着活性の検討	松本哲朗	泌尿器科	915,000 円	補 ファルマトカ 委
サイクロフォスファミド誘発間質性膀胱炎モデルラットの排尿・蓄尿機能及び組織学的変化に対するN-methyl-ラマトロバン及びICI-185,282の効果	松本哲朗	泌尿器科	562,500 円	補 バイエル薬品株 委
緑内障の病因に関する細胞生物学的研究—ステロイド緑内障からのアプローチ—	久保田敏昭	眼科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
緑内障の発症機序に関する分子生物学的研究	田原昭彦	眼科	1,500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
上皮細胞のタイト結合と細胞増殖因子からみた鼻茸形成のメカニズム	鈴木秀明	耳鼻咽喉科	900,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
睡眠呼吸障害患者における認知機能に関する研究	北村拓朗	耳鼻咽喉科	600,000 円	補 文部科学科学研究費 委

9 件  
81 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
インドメタシンによる鼻茸縮小機序の解明とラミニンの関与	宇高毅	耳鼻咽喉科	1,400,000 円	補 文部科学科学研究費 委
選択的エストロゲン受容体調節薬の子宮内膜間質および平滑筋における造腫瘍能の解析	蜂須賀徹	産婦人科	1,000,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
神経因性疼痛モデルにおけるグリシン及びGABAトランスポーター阻害薬の鎮痛効果	原幸治	麻酔科	1,300,000 円	補 文部科学科学研究費 委
ロボット歩行訓練時における脊髄損傷者の脳賦活	和田太	リハビリテーション科	400,000 円	補 日本学術振興会科学 研究費 委
簡便な懸垂式歩行訓練装置の有用性に関する検討	牧野健一郎	リハビリテーション科	400,000 円	補 文部科学科学研究費 委
脳卒中後うつに対する塩酸パロキセチン投与が長期的なADL、QOLに及ぼす影響	高橋真紀	リハビリテーション科	500,000 円	補 文部科学科学研究費 委
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	蜂須賀研二	リハビリテーション科	4,800,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
スモンに関する調査研究	蜂須賀研二	リハビリテーション科	900,000 円	補 厚生労働科学研究費 委
u-リハビリ空間実現のための歩容情報センシングの研究開発	蜂須賀研二	リハビリテーション科	522,000 円	補 総務省 委

9 件  
90 件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額（円）	補助元及び委託元
3テスラMRSを用いた脳内GABAの測定により夜勤従事者の疲労を客観的に評価する	興梠征典	放射線科	2,400,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
温熱療法と高気圧酸素治療の2者併用による化学療法、放射線治療の増感効果の検討	大栗隆行	放射線科	1,100,000 円	補 文部科学科学研究費 委
肺結節コンピュータ支援診断(肺結節CAD)の臨床検証	興梠征典	放射線科	1,400,000 円	補 東芝メディカルシステムズ 委
重炭酸含有チューインガムによる胃食道逆流症の治療	芳川一郎	内視鏡部	500,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
慢性腎疾患におけるインテグリンの病態生理学的役割の解明と制御による治療への応用	田村雅仁	腎センター	1,300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
悪性胸膜中皮腫における分子標的として腫瘍関連遺伝子の解析	浦本秀隆	化学療法センター	1,300,000 円	補 日本学術振興会科学研究費 委
RF測定試薬の臨床性能試験	大田俊行	臨床検査・輸血部	600,000 円	補 栄研化学 委

7件  
97件



2 論文発表等の実績（平成 20 年度実績）

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mod Rheumatol. 18 : 447-454 (2008 年 4 月)	Retrospective clinical study on the notable efficacy and related factors of infliximab therapy in a rheumatoid arthritis management group in Japan:one year outcome of joint destruction(RECONFIRM-2J).	Saito, K.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
九州リウマチ 28 : 5-9 (2008 年 4 月)	難治性 SLE に対するリツキシマブの効果	齋藤和義	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Rheumatology 47 : 907-913 (2008 年 4 月)	Bolus infusion of human urinary trypsin inhibitor improves intractable interstitial pneumonia in patients with connective tissue diseases.	Saito, K.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
J Biol Chem. 283:18969-18979 (2008 年 5 月)	Arsenic trioxide augments Chk2/p53 mediated apoptosis by inhibiting oncogenic Wip1 phosphatase	Tanaka, Y.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Biochem Biophys Res Commun. 373:286-291 (2008 年 6 月)	Antagonizing dopamine D1-like receptor inhibits Th17 cell differentiation:preventive and therapeutic effects on experimental autoimmune encephalomyelitis.	Tanaka, Y.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Rheumatology 47:1373-1378 (2008 年 6 月)	Clinical characteristics of cytomegalovirus infection in rheumatic diseases:multicentre survey in a large patient population.	Tanaka, Y.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Mod Rheumatol. 18 : 460-464 (2008 年 6 月)	Discontinuation of infliximab in rheumatoid arthritis patients in clinical remission.	Nawata, M.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Mod Rheumatol. 18 : 516-521 (2008 年 6 月)	Acute pan-dysautonomia as well as central nervous system involvement and peripheral neuropathies in a patient with systemic lupus erythematosus.	Yukawa, S.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Allergol Int. 57 : 319-222 (2008 年 9 月)	Evaluation of adjuvant activities using human antigen presenting cells invitro.	Tanaka, Y.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科
Diabetes Care. 31 : 1949-1954 (2008 年 10 月)	Reduced progression to type 2 diabetes from impaired glucose tolerance after a 2-day in-hospital diabetes educational program:the Joetsu Diabetes Prevention Trial.	Okada, Y.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Rheumatol 35 : 2249-2254 (2008年11月)	Alendronate Protects Premenopausal Women from Bone Loss and Fracture Associated with High-dose Glucocorticoid Therapy.	Okada, Y.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
日本内科学会雑誌. 97 : 2377-2379 (2008年11月)	関節リウマチと骨粗鬆症の治療のパラダイムシフト	田中良哉	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
日本内科学会雑誌 97 : 2418-2423 (2008年11月)	内科医が診るべき骨・関節疾患：治療の新展開. I.関節リウマチ 7.新規生物学的製剤の新展開.	齋藤和義	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
Intern Med. 47 : 1935-1940 (2008年11月)	Complete resolution of dermatomyositis with refractory cutaneous vasculitis by intravenous cyclophosphamide pulse therapy.	Saito, K.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
Neuroimmunology. 16 : 165-170 (2008年11月)	抗CD20抗体による全身性エリテマトーデスの治療	田中良哉	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
Rheumatology. 48 : 198-199 (2009年1月)	Severe acute thrombotic exacerbation in two cases with anti-phospholipid syndrome after retreatment with rituximab in phase I/II clinical trial for refractory systemic lupus erythematosus	Suzuki, K.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology 3(1) : 28-31 (2009年2月)	RADIATE study	田中良哉	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
Rheumatology 48(2) : 198-199 (2009年2月)	Severe acute thrombotic exacerbation in two cases with anti-phospholipid syndrome after retreatment with rituximab in phase I/II clinical trial for refractory systemic lupus erythematosus	Suzuki, K.	膠原病リウマチ内科 内分泌代謝糖尿病内科
Circulation 117 (17) : 2211-2223 (2008年4月)	Spontaneous myocardial infarction in mice lacking all nitric oxide synthase isoforms	須田治	循環器内科 腎臓内科
J Arrhythmia 24 : 133-140 (2008年4月)	Current status of implantable defibrillator devices in patients with left ventricular dysfunction	安部治彦	循環器内科 腎臓内科

10件

20件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
PACE(Pacing Clin Electrophysiol) 31 (5) : 641-641 (2008年5月)	Tilt training for vasovagal syncope	Abe, H.	循環器内科 腎臓内科
Journal of Cardiovascular Electrophysiology 19 : 702-707 (2008年8月)	Effects of pacing modes on cardiac baroreflex function in permanently paced patients with sinus node dysfunction.	Tsurugi, T.	循環器内科 腎臓内科
J Atheroscler Thromb 15 SUP4 : 206-212 (2008年8月)	Derivatives of reactive oxygen metabolites correlates with high sensitivity C-reactive protein.	Kamezaki, F.	循環器内科 腎臓内科
日本放射線技術学会雑誌 64 (7) : 805-813 (2008年8月)	植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器に対する診断領域X線の影響とその対策	安部治彦	循環器内科 腎臓内科
Journal of Echocardiography 6 (3) : 74-83 (2008年9月)	Different Mechanisms of Ischemic Mitral Regurgitation in Patients With Inferior and Anterior Myocardial Infarction	尾辻豊	循環器内科 腎臓内科
Journal of Echocardiography 6 (4) : 119-121 (2008年12月)	Atypical Transient Left Ventricular Basal Dysfunction and Functional Mitral Regurgitation in a Patient With Subarachnoid Hemorrhage	尾辻豊	循環器内科 腎臓内科
Circulation Journal 72 SUPIV : 1133-1192 (2008年12月)	ペースメーカー、ICD、CRTを受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン	安部治彦	循環器内科 腎臓内科
Journal of Echocardiography 6 (4) : 109-118 (2008年12月)	Assessment of Left Ventricular Dyssynchrony in Myocardial Infarction Using 2D Speckle Tracking Imaging	竹内正明	循環器内科 腎臓内科
International Heart Journal 50 (1) : 133-137 (2009年1月)	Electromagnetic Interference With a Bipolar Pacemaker by an Induction Heating (IH) Rice Cooker	Nagatomo, T.	循環器内科 腎臓内科
Circulation Journal 73 (1) : 37-38 (2009年1月)	Non-Stress Echocardiographic Diagnosis of Coronary Artery Stenosis	Takeuchi, M.	循環器内科 腎臓内科

10件

30件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Echocardiography 7 (1) : 16-18 (2009年3月)	Tilt training for vasovagal syncope	尾辻豊	循環器内科 腎臓内科
Journal of Echocardiography 7 (1) : 2-8 (2009年3月)	Comparison of Usefulness of the wall thickness of the left anterior descending coronary artery, determined by transthoracic echocardiography, and carotid intima-media thickness in predicting multivessel coronary artery disease	Yoshitani, H	循環器内科 腎臓内科
Life Sciences 84 : 380-387 (2009年3月)	Differential modulation of late sodium current by protein kinase A in R1623Q mutant of LQT3	Tsurugi, T.	循環器内科 腎臓内科
Endoscopy 40(4) : 280-283 (2008年4月)	Endoscopic mucosal resection for early gastric cancer: comparisons of two modification of the cap method	Kume, K.	消化管内科 肝胆膵内科
Journal of Gastroenterology 43(6) : 403-408 (2008年4月)	Asian diagnostic criteria for autoimmune pancreatitis: consensus of the Japan-Korea Symposium on Autoimmune pancreatitis.	Kihara, Y.	消化管内科 肝胆膵内科
Eur J Gastroenterol Hepatol. 20(5) : 373-378 (2008年5月)	Increased soluble IL-2 receptor levels during interferon and ribavirin treatment are associated with a good response in genotype 2a/2b patients with chronic hepatitis C.	Abe, S.	消化管内科 肝胆膵内科
EXPERIMENTAL CELL RESEARCH 315(2) : 119-126 (2009年1月)	Niemann-Pick C1 protein transports copper to the secretory compartment from late endosomes where ARP7B resides.	Harada, M.	消化管内科 肝胆膵内科
日本禁煙学会雑誌 3(2) : 26-30 (2008年4月)	加濃式社会的ニコチン依存度調査票 (KTSND) を用いた「みやこ禁煙学会」参加者の喫煙に関する意識調査	吉井千春	呼吸器内科
日本胸部臨床 67(6) : 501-509 (2008年6月)	長期間経過を追うことができた、若年発症のアレルギー性気管支肺アスペルギルス症の2例	國本政瑞沖	呼吸器内科
日本呼吸器学会雑誌 46(9) : 712-716 (2008年6月)	抗 GM-CSF 抗体が診断の一助となった早期肺胞蛋白症の1例	山崎啓	呼吸器内科

10件

40件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
気管支学 30(6) : 376-382 (2008年11月)	特発性肺線維症の急性増悪時にびまん性肺 胞出血を合併した2例	國本政瑞沖	呼吸器内科
Respiratory Research 10(1) : 1-8 (2009年2月)	Calcitonin gene-related peptide stim- ulates proliferation of alveolar epith- ettlial cells.	Kawanami, Y.	呼吸器内科
J Neurolo Sci 273 : 15-18 (2008年10月)	Severe symptoms of 16q-ADCA coexisting with SCA8 repeat expansion	Ohnari, K.	神経内科 心療内科
BioPsychoSocial Med 3 : 6 (2009年3月)	Age distribution and gender differences in psychogenic fever patients	Tsuji, S	神経内科 心療内科
Prog Neuropsychopharm acol Biol Psychiatry 32(3) : 679-685 (2009年4月)	Stress at work alters serum brain- derived neurotrophic factor (BDNF) levels and plasma 3-methoxy-4-droxy phenylglycol (MHPG)levels in heal- thy volunteers: BDNF and MHPG as possible biological markers of mental stress?	Mitoma, M	神経・精神科
Modern Rheumatol 18 : S76 (2008年4月)	Serum brain derived neurotrophic fa- ctor (BDNF) in neuropsychiatric sys- temic lupus erythematosus (NPSLE).	Sugita, A.	神経・精神科
脳と精神の医学 19(4) : 211-217 (2008年4月)	早期統合失調症の臨床と病態	中村純	神経・精神科
Psychiatry Clin Neurosci 62(3) : 359-361 (2008年6月)	Two cases of burning mouth syndrome treated with olanzapine	Ueda, N.	神経・精神科
Prog Neuropsychopharm acol Biol Psychiatry 32(5) : 1185-1190 (2008年7月)	Efficacy of electroconvulsive therapy is associated with changing blood levels of homovanillic acid and brainderived neurotrophic factor (BDNF) in refract- ory depressed patients: A pilot study.	Yoshimura, R.	神経・精神科
九州神経精神医学 54(2) : 85-93 (2008年8月)	産業医科大学病院緩和ケアチームへの精 神科医の関わり	杉田篤子	神経・精神科

10件

50件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
九州神経精神医学 54(2) : 120-126 (2008年8月)	プライマリケア医のうつ病診療に関する 実態調査	中村純	神経・精神科
Int J Neuropsychopharm acol 11(1) : 93-94 (2008年9月)	Serum brain derived neurotrophic factor is associated with psychiatric symptoms in neuropsychiatric systemic lupus erythematosus	Sugita A	神経・精神科
Int J europsychopharm acol 11(1) : 116 (2008年9月)	Increase of blood levels of BDNF and HVA are associated with its clinical efficacy in depressed patients	Nakano, W	神経・精神科
Int J Neuropsychopharm acol 11(1) : 132 (2008年9月)	Grapefruit juice inhibits the pharmacokinetics of sertraline	Ueda, N.	神経・精神科
日本アルコール精神医学雑誌 15(1) : 39-43 (2008年9月)	単科精神科病院における敷地内禁煙の取 り組み	中野和歌子	神経・精神科
BMC Public Health 15 : 1-8 (2008年9月)	A community intervention trial of mul- timodal suicide prevention program in Japan:A Novel multimodal Community Intervention program to prevent suici- de and suicide attempt in Japan, NOCOMIT-J	Nakamura, J.	神経・精神科
臨床精神薬理 11(10) : 1921-1924 (2008年10月)	奇異反応と統合失調症の精神症状との鑑 別に難渋した1例	福中優子	神経・精神科
Neuroscience Letters 444 : 161-165 (2008年10月)	Genetic association between the do- pamine D3 gene polymorphism (Ser9Gly)and schizophrenia in Japa- nise populations	Shinkai, T.	神経・精神科
Neuromolecular Med. 10(4) : 362-367 (2008年10月)	Functional Polymorphism of the Human Multidrug Resistance Gene (MDR1)and Polydipsia- Hyponatremia in Schizophrenia.	Shinkai, T.	神経・精神科
Pharmacogenomics 9(10) : 1437-1443 (2008年10月)	Variants of dopamine and serotonin candidate genes as predictors of response to risperidone treatment in first-episode schizophrenia	Yoshimura, R.	神経・精神科

10件

60件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
精神医学 50(11) : 103-106 (2008年11月)	反復経頭蓋磁気刺激療法による治療後、長期に寛解状態を保っているうつ病の1例	行正徹	神経・精神科
The German Journal of Psychiatry : 103-106 (2008年11月)	Drinking Spring Water and Lithium Absorption	Yoshimura, R.	神経・精神科
臨床精神薬理 11(11) : 2093-2102 (2008年11月)	不安を併発したうつ病に対する sertraline 50~100 mgの有効性	中村純.	神経・精神科
Hum Psychopharmacol 23(8) : 707-713 (2008年12月)	Addition of risperidone to sertraline improves sertraline-resistant refractory depression without influencing plasma concentrations of sertraline and desmethylsertraline	Yoshimura, R.	神経・精神科
精神科 14 (2) : 159-162 (2009年2月)	Methylphenidate の離脱によって自殺企図に至った1例	林健司	神経・精神科
日小児血液会誌 22 : 95-103 (2008年4月)	新生児・乳児ビタミンK欠乏性出血症	白幡聡	小児科
日血栓止血会誌 19 : 244-256 (2008年4月)	国内のインヒビター保有血友病患者における遺伝子組換え活性型凝固第Ⅶ因子製剤（注射用ノボセブン）の高用量単回投与に関する臨床研究	白幡聡	小児科
日小児栄養消肝会誌 22 : 13-18 (2008年4月)	肥満小児における血中レプチン値	土橋一重	小児科
Brain Dev 30(5) : 370-373 (2008年4月)	Infantile Neuronal Ceroid Lipofuscinosis: The First Reported Case in Japan Diagnosed by Palmitoyl-Protein Thioesterase Enzyme Activity Deficiency	Shimono, M.	小児科
日周産期・新生児会誌 44 : 113-116 (2008年4月)	多発性心臓横紋筋腫から結節性硬化症を疑った超低出生体重児の一例	下野昌幸	小児科

10件

70件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日産婦新生児血液誌 10(1) : 75-76 (2008年5月)	過凝固状態の評価における可溶性フィブリンモノマー複合体の有用性	高橋大二郎	小児科
日産婦新生児血液誌 10(1) : 137-138 (2008年5月)	ハイリスク児のプロトロンビン値 (PT値) の分布と PT 値に影響を及ぼす要因	高橋大二郎	小児科
日小児血液会誌 22 : 167-172 (2008年6月)	インヒビター保有患者の治療	白幡聡	小児科
日本エイズ学会誌 10(3) : 131-136 (2008年8月)	本邦の HIV 感染血友病における HIV/AIDS 関連の集計数	白幡聡	小児科
日血栓止血会誌 19 : 510-519 (2008年8月)	インヒビターのない血友病患者の急性出血、処置・手術における凝固因子補充療法のガイドライン	酒井道生	小児科
日血栓止血会誌 19 : 520-539 (2008年8月)	インヒビター保有先天性血友病患者に対する止血治療ガイドライン	酒井道生	小児科
Int J Hematol 88 : 304-310 (2008年10月)	Current status of Japanese HIV-infected patients with coagulation disorders: coinfection with both HIV and HCV	Shirahata, A.	小児科
Regul Pept 145 : 133-140 (2008年12月)	Postnatal development of galanin-like peptide mRNA expression in rat hypothalamus.	Kawagoe, R.	小児科
Anticancer Res 28 (2B) 1277-1283 (2008年4月)	Prognostic significance of the local expression of interleukin-12 in patients with advanced gastric cancer	Nagashima, N.	消化器・内分泌外科
日臨外会誌 69 (9) : 2149-2155 (2008年9月)	GIST の臨床病理学的検討	金光秀一	消化器・内分泌外科

10件

80件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatogastroenterology 55 (Jul86) : 1846-1850 (2008年10月)	Phase II study of weekly paclitaxel and cisplatin combination therapy for advanced or recurrent gastric cancer	Nagata, N.	消化器・内分泌外科
日本消化器外科学会雑誌 42 (1) : 89-93 (2009年1月)	転移性直腸癌に対する血管新生阻害剤 bevacizumab 使用中に発症した腸管穿孔の1例	平田敬治	消化器・内分泌外科
J Thorac Oncol 3(10) : 1127-1132 (2008年10月)	Significance of Smoking as a Postoperative Prognostic Factor in Patients with Non-small Cell Lung Cancer	Hanagiri, T.	呼吸器・胸部外科
J Clin Oncol 27(3) : 411-417 (2009年1月)	Association between estrogen receptor-beta expression and epidermal growth factor receptor mutation in the postoperative prognosis of adenocarcinoma of the lung.	Nose, N.	呼吸器・胸部外科
Molecular medicine reports 2 : 353-357 (2009年3月)	Reduced expression of catenin subtypes is a potential indicator of unfavorable prognosis in esophageal squamous cell carcinoma	Nozoe, T.	呼吸器・胸部外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg 14 (4) : 256-257 (2008年8月)	Patent ductus arteriosus with hemiazygos communication to left superior vena cava.	Eto, M.	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg 136 (6) : 1586-1592 (2008年12月)	A Rho-kinase inhibitor improves cardiac function after 24-hour heart preservation.	Eto, M.	心臓血管外科
Neurologia medico-chirurgica 48-6 : 266-270 (2008年6月)	Synovial chondromatosis of the temporomandibular joint with intracranial extension-Case Report-	Nishizawa, S.	脳神経外科
日本内分泌学会雑誌 84 suppl : 8-11 (2008年6月)	ラトケ嚢胞の長期治療成績	西澤茂	脳神経外科
日本レーザー医学会誌 29 (2) : 169-176 (2008年7月)	The Effect of Irradiation at 670nm in 5-ALA-mediated PDT	Yamamoto, J.	脳神経外科

10件

90件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurologia medico-chirurgica 49(2):71-76 (2009年2月)	Sigmoid sinus dural arteriovenous fistula with spinal venous drainage manifesting as only brainstem-related neurological deficits without myelopa- thy-case report-	Nishizawa, S.	脳神経外科
整形・災害外科 51(4):493-497 (2008年4月)	血液透析患者に発生した同時多発腱断 裂の1例	池井大輔	整形外科
整形・災害外科 51(7):977-979 (2008年6月)	肥厚した輪状靭帯による弾発肘の一例	山中芳亮	整形外科
The Journal of Hand Surgery 33A(6):820-826 (2008年8月)	Association of Bone Mineral Density With Deformity of the Distal Radius in Low-Energy Colle's Fractures in Japa- nese Women Above 50 Years of Age.	Sakai, A.	整形外科
整形・災害外科 51(10):1323-1326 (2008年9月)	陳旧性月状掌側脱臼に伴った小指屈筋 腱断裂の一例	山中芳亮	整形外科
整形外科と災害 57(3):419-423 (2008年9月)	胸椎後縦靭帯骨化症の2手術症例	中村英一郎	整形外科
日本手の外科学会雑誌 25(2):110-115 (2008年12月)	早期運動療法を施行した Colles 骨折に 対する掌側 locking plate 固定術後矯正 損失と臨床成績の関係	善家雄吉	整形外科
整形・災害外科 52(1):111-113 (2009年1月)	橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキン グ・プレート固定術後の長母指屈筋腱 断裂の1例	竹内慶法	整形外科
整形外科 60(1):93-96 (2009年1月)	高齢者の背側転移不安定型橈骨遠位端 骨折に対する intrafocal pinning 法と 掌側ロッキングプレート法の治療成績 の治療成績の連続症例比較	大茂寿久	整形外科
The Journal of Bone & Joint Surgery(Br.) 91(1):102-107 (2009年1月)	The effect of an associated ulnar sty- loid fracture on the outcome after fix- ation of a fracture of the distal radius.	Sakai, A.	整形外科

10件

100件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
災害・整形外科 52 (2) : 183-187 (2009年2月)	透析患者の膝関節症に対するヒアルロン酸製剤関節内投与の有効性	酒井昭典	整形外科
J Invest Dermatol 128 : 1719-1727 (2008年9月)	Cutaneous hypersensitivities to hapten are controlled by IFN- $\gamma$ upregulated keratinocyte Th1 chemokines and IFN- $\gamma$ -downregulated Langerhans cell Th2 chemokines	Mori, T.	皮膚科
J Invest Dermatol 128 : 2625-2630 (2008年11月)	Possible Pathogenic Role of Th17 Cells for Atopic Dermatitis	Tokura, Y.	皮膚科
J Invest Dermatol 128 : 2833-2841 (2008年11月)	Impaired initiation of Contact Hypersensitivity by FTY720	Nakashima, D.	皮膚科
J Dermatol Sci 52 (2) : 140-143 (2008年11月)	Evaluation of photoallergic potential of chemicals using THP-1 cells	Hino, R.	皮膚科
Br J Dermatol 160 : 297-304 (2009年2月)	Expression of toll-like receptor 2, NOD 2 and dectin-1 and stimulatory effects of their ligands and histamine in normal human keratinocytes	Kobayashi, M.	皮膚科
Journal of Investigative dermatology 129 : 705-713 (2009年3月)	IL-10-producing langerhans cells and regulatory T cells are responsible for depressed contact hypersensitivity in grafted skin	Yoshiki, R.	皮膚科
International Journal of Urology 15 (4) : 356-360 (2008年4月)	Effect of eviprost on bladder over-activity in an experimental cystitis rat model	Kobayashi, M.	泌尿器科
西日本泌尿器科 70 (4) : 204-207 (2008年4月)	抗コリン薬に対して無効であった過活動膀胱症例の検討	野村昌良	泌尿器科
J. Antibiot 61 (4) : 213-221 (2008年4月)	Genetic analysis of faropenem-resistant Enterococcus faecalis in urinary isolates.	Matsumoto, T.	泌尿器科

10件

110件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本化学療法学会雑誌 56 SUP1 : 130 (2008年4月)	男子非淋菌性尿道炎を対象とした sitafloxacin の一般臨床試験	松本哲朗	泌尿器科
BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM 21 : 89-95 (2008年6月)	バンコマイシン耐性腸球菌 (VanA 型 Enterococcus faecalis) のバイオフィル ム形成能に関連する基礎的検討	松本哲朗	泌尿器科
International Journal of Urology 15 (6) : 467-471 (2008年6月)	Controversies in perioperative management and antimicrobial prophylaxis in urologic surgery	Matsumoto, T.	泌尿器科
International Journal of Urology 15 (9) : 837-842 (2008年9月)	Single dose 1g ceftriaxone for urogenital and pharyngeal infection caused by Neisseria gonorrhoeae.	Akasaka, S.	泌尿器科
西日本泌尿器科 71 (1) : 3-10 (2009年1月)	Maximum androgen blockade 中の PSA 再燃に対する非ステロイド性抗アンドロ ゲン剤交替療法 NASA-PC 研究会報告 を中心に	藤本直浩	泌尿器科
西日本泌尿器科 71 (3) : 101-105 (2009年3月)	過活動膀胱患者に対するソリフェナシ ンとプロピペリンの比較検討	野村昌良	泌尿器科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 246 (7) : 1021-1028 (2008年4月)	Immunohistochemical evaluation of the extracellular matrix in trabecular meshwork in steroid-induced glauco- ma.	Tawara, A.	眼科
眼科臨床紀要 1 (5) : 450-452 (2008年5月)	野球ボールによる眼部外傷の統計的検 討	平田亮	眼科
European journal of ophthalmology 18 (6) : 910-914 (2008年6月)	Influence of IOP measurement throug h the wrong eyepiece of the slit lamp on Goldmann applanation tonometry	Kubota, T.	眼科
The Journal of biological chemistry 283 (26) : 18218-18226 (2008年6月)	Tip60 is regulated by circadian transcription factor clock and is involved in cisplatin resistance.	Miyamoto, N.	眼科

10件

120件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Ophthalmology 52 (5) : 410-412 (2008年10月)	Intravitreal Injection of Bevacizumab to Treat Neovascular Glaucoma	Kubota, T.	眼科
Journal of Glaucoma 17 (8) : 619-625 (2008年12月)	The Influence of Central Corneal Thickness and Corneal Curvature Radius on the Intraocular Pressure as Measured By Different Tonometers: Noncontact and Goldmann Applanation tonometers.	Harada, Y.	眼科
Auris Nasus Larynx 35(2) : 192-197 (2008年6月)	Prostaglandin E1 versus steroid in combination with hyperbaric oxygen therapy for idiopathic sudden sensorineural hearing loss	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
Med Mol Morphol 41(3) : 139-144 (2008年9月)	Immunoreactivities for glutathione S-transferases and glutathione peroxidase in the lateral wall of pigmented and albino guinea pig cochlea	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
Ann Otol Rhinol Laryngol 117(10) : 745-748 (2008年10月)	Digastric Muscle Sew-Up Procedure for the Repair of the Floor of the Mouth Following Pull-Through Operation for Oral Cancers	Suzuki, H.	耳鼻咽喉科
日耳鼻 111(11) : 695-700 (2008年11月)	閉塞型睡眠時無呼吸症候群の診断におけるセファロメトリーと咽頭視診の有用性	北村拓朗	耳鼻咽喉科
Arch Otolaryngol Head Neck Surg 134(12) : 1254-1257 (2008年12月)	Snoring, daytime sleepiness, and nasal obstruction with or without allergic rhinitis	Hiraki, N.	耳鼻咽喉科
Brain Res 1258 : 34-42 (2009年3月)	Brain-derived neurotrophic factor inhibits spontaneous inhibitory postsynaptic currents in the rat supraoptic nucleus	Ohbuchi, T.	耳鼻咽喉科
Hypertension 52 : 387-393 (2008年8月)	Increased Myeloperoxidase in the Placenta and Circulation of Women With Preeclampsia	Shibata, E.	産婦人科
日本産科婦人科学会雑誌 60(9) : 336-340 (2008年9月)	子宮脱と尿失禁 骨盤内臓器脱(pelvic organ prolapse : POP)の手術療法	吉村和晃	産婦人科

10件

130件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Placenta 29(10) : 879-882 (2008年10月)	Placental System A Amino Acid Transport is Reduced in Pregnancies With Small For Gestational Age (SGA) Infacts but Not in Preeclampsia with SGA Infacts	Shibata, E.	産婦人科
日本女性骨盤底医学会誌 5(1) : 31-33 (2008年12月)	骨盤内臓器脱症例に対する TVM (tension-free vaginal mesh)手術の実際	吉村和晃	産婦人科
Acta Cytologica 53(1) : 24-28 (2009年1月)	Endometrial cytologic findings in tamoxifen-treated breast cancer patients	Hachisuga, T	産婦人科
Placenta 30(1) : 25-34 (2009年1月)	Novel soluble Flt-1 isoforms in plasma and cultured placental explants from normotensive and preeclamptic women.	Shibata, E.	産婦人科
American Journal of Physiology · Cell Physiology 296(1) : C124-C130 (2009年1月)	Effect of interleukin-15 on depressed splenic dendritic cell functions following traumahemorrhage	Kawasaki, T.	産婦人科
Int J STD AIDS 20 (2) : 108-111 (2009年2月)	Can bacterial vaginosis help to find sexually transmitted disease, especially Chlamydial cervicites?	Yoshimura, K.	産婦人科
Am J Neuroradiol 29 (6) : 1171-1175 (2008年6月)	Signal intensity of the motor cortex on phase-weighted imaging at 3T.	Kakeda, S.	放射線科
J Magn Reson Imaging 28 (1) : 13-20 (2008年7月)	MRA of intracranial aneurysms embolized with platinum coils: a vascular phantom study at 1.5T and 3T.	Kakeda, S.	放射線科
Head Neck 30 (8) : 1027-1034 (2008年8月)	Concurrent hyperfractionated radiotherapy and carboplatin with transoral debulking microsurgery for T2N0 glottic cancer.	Ohguri, T.	放射線科
Radiat Med 26 : 587-596 (2008年12月)	Concurrent chemoradiotherapy with gemcitabine plus regional hyperthermia for locally advanced pancreatic carcinoma: initial experience.	Ohguri, T.	放射線科

10件

140件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur Radiol 18 (12) : 2949-2955 (2008年12月)	Signal intensity of motor and sensory cortices on T2-weighted and FLAIR images: intraindividual comparison of 1.5T and 3T MRI.	Kamada, K.	放射線科
The Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics 326 (1) : 270-277 (2008年7月)	n-Alcohols inhibit voltage-gated Na <sup>+</sup> channels expressed in Xenopus oocytes	Horishita, T.	麻酔科
麻酔 57 (8) : 993-995 (2008年8月)	抗アセチルコリン受容体抗体陽性で筋無力症状を認めない胸腺腫患者の麻酔管理	小原剛	麻酔科
麻酔 57(8) : 1002-1004 (2008年8月)	洞房ブロックと拘束性肺障害のある患者でのレミフェンタニルの使用経験	西尾由美子	麻酔科
Journal of Neurochemistry 106 (4) : 1804-1814 (2008年8月)	Inhibition of TASK1-like channels by muscarinic receptor stimulation in rat adrenal medullary cells.	Inoue, M.	麻酔科
Anesthesia & Analgesia 107 (5) : 1579-1586 (2008年11月)	The effects of volatile aromatic anesthetics on voltage-gated Na <sup>+</sup> channels expressed in Xenopus oocytes	Horishita, T.	麻酔科
American Journal of Physiology - cell physiology 296 (1) : C124-C130 (2009年1月)	Effect of interleukin-15 on depressed splenic dendritic cell functions following trauma-hemorrhage.	Kawasaki, T.	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌 16 (1) : 51-56 (2009年1月)	意識障害・呼吸不全の憎悪に reeeping syndrome が関与した1例	宮崎裕也	麻酔科
日本集中治療医学会雑誌 16 (1) : 61-65 (2009年1月)	尿路感染症に起因する敗血症性ショックの臨床的特徴	原西保典	麻酔科
Japanese Journal of Occupational Medicine and Traumatology 56(4) : 146-151 (2008年4月)	The relationship between frontal and temporal lobe lesions in traumatic brain injury and procedural memory.	Okazaki, T.	リハビリテーション科

10件

150件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日職災医学会誌 56(3) : 102-107 (2008年5月)	Evaluation of a Simple Driving Simulation for Patients with Brain Lesions, and Its Features.	Okazaki, T.	リハビリテーション科
理学療法学 35(8) : 404-407 (2008年8月)	高次脳機能障害者への理学療法介入戦略—臨床における check point と介入のコツ—	蜂須賀研二	リハビリテーション科
Journal of Stroke & Cerebrovascular Diseases 17(5) SUP1 : s76 (2008年9月)	Robotic-aided training for severely affected arm in a chronic stroke patient: a case study	Saeki, S.	リハビリテーション科
Jpn J Rehabil Med 46(1) : 26-31 (2009年1月)	ロボット訓練の適応と機能画像	蜂須賀研二	リハビリテーション科
Spinal Cord 47(2) : 144-148 (2009年2月)	Topical anesthesia blunts the pressor response induced by bowel manipulation in subjects with cervical spinal cord injury.	Takahashi, M.	リハビリテーション科
日本輸血細胞治療学会誌 54 (3) : 406-410 (2008年6月)	重篤な急性輸血副作用に関する多施設共同研究	中田浩一	臨床検査・輸血部
Pathology International 58 (6) : 306-310 (2008年6月)	Sclerosing variant of epithelioid angiomylipoma	Matsuyama, A.	病理部
Pathology-Research and Practice 204 : 423-426 (2008年6月)	A case of intraosseous arteriovenous malformation with unusual radiological presentation of low blood flow	Matsuyama, A.	病理部
日本臨床細胞学会九州 連合会雑誌 39 : 81-85 (2008年7月)	乳腺髄様癌の4症例	小原光祥	病理部
日本臨床細胞学会九州 連合会雑誌 39 : 17-20 (2008年7月)	長期膀胱皮膚瘻設置患者に発生した膀胱原発腺癌の1例	岩井幸子	病理部

10件

160件



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diagnostic Molecular Pathology 17 (4) : 237-240 (2008年12月)	DNA-based Polymerase Chain Reaction for Detecting FUS-CREB3L2 in Low-grade Fibromyxoid Sarcoma Using Formalin-fixed, Paraffin-embedded Tissue Specimens	Matsuyama, A.	病理部
clinical nephrology 69 (5) : 393-394 (2008年5月)	Falecalcitriol for conventional vitamin D therapy-resistant secondary hyperparathyroidism in a continuous ambulatory peritoneal dialysis patient	Tokunaga, M.	腎センター
clinical nephrology 70 (5) : 445-446 (2008年11月)	Mizoribine for relapsed proteinuria in an adult IgA nephropathy patient	Tokunaga, M	腎センター
日本集中治療医学会雑誌 15 (4) : 521-525 (2008年10月)	尿管結石症から急速な経過で敗血症性ショック、播種性血管内凝固症候群となり救命できなかった一例	長門優	救急・集中治療部
日本集中治療医学会雑誌 16 (1) : 51-56 (2009年1月)	意識障害・呼吸不全の憎悪に refeeding syndrome が関与した1例	宮崎裕也	救急・集中治療部
日本口腔腫瘍学会誌 20 (3) : 137-143 (2008年9月)	対側多発性後発頸部リンパ節転移を高気圧酸素併用超選択的カルボプラチン動注化学放射線併用療法で治療した頬粘膜癌の1症例	大矢亮一	歯科口腔外科
International Journal of Behavioral Medicine 15(2) April-June : 109-119 (2008年4月)	Improving the Measurement Accuracy of the Effort-Reward Imbalance Scales	Tsutsumi, A.	産業医実務研修 センター
ARCH INTERN MED 69(1) : 56-61 (2009年1月)	Prospective Study on Occupational Stress and Risk of Stroke	Tsutsumi, A.	産業医実務研修 センター
Int. J. Methods Psychiatr. Res 18(1) : 58-67 (2009年2月)	Application of item response theory to achieve cross-cultural comparability of occupational stress measurement	Tsutsumi, A.	産業医実務研修 センター
Health and Social Disparity 90-115 (2009年3月)	Health and Occupational Class	Tsutsumi, A.	産業医実務研修 センター

10件  
170件

雑 誌 名	題 名	発表者氏名	所 属 部 門
日本病院薬剤師会雑誌 44(9)：1359-1363 (2008年9月)	抗がん剤適正使用のための取り組み －投薬歴ファイルを用いた処方監査－	北川直子	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌 44(12)：1790-1793 (2008年12月)	九州山口地区におけるがん化学療法関連業 務の実態調査	一木孝治	薬剤部
日本放射線技術学会雑誌 64(10)：1235-1240 (2008年10月)	外科的手技を伴う非血管性IVRでの術者 の手指の被ばく	中野努	放射線部
医療事故・紛争対応研究会誌 2：39-46 (2008年4月)	当院における危険予知トレーニングの実 際	今永たか子	医療安全管理部

4件

174件

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

(平成 21 年 10 月 1 日現在)

管理責任者氏名	病 院 長 中村 利孝
管理担当者氏名	医療情報部長 舟谷 文男、放射線部長 興梠 征典 看護部長 小竹 友子、薬剤部長 高橋 浩二郎 病院管理課長 前田 良兒、医事課長 辻塚 勲

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約および入院診療計画書		病 歴 室 薬 剤 部 放 射 線 部 看 護 部 各診療科外来 病院管理課	電子カルテ以前の手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院中の診療経過の要約及び電子カルテ以降の入院・外来ファイルに添付の諸記録は病歴室で保管。(但し外来診療録及びファイルに添付の諸記録は、最終診療日から3ヶ月以内の物については、各診療科外来で保管) 最終撮影日から1年以内のエックス線写真は放射線部で保管。 処方せんは薬剤部で保管。 各科診療日誌は看護部で保管。 病院日誌は病院管理課で保管。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課		
	高度の医療の提供の実績	病院管理課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課		
	高度の医療の研修の実績	病院管理課		
	閲覧実績	病院管理課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医 事 課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医 事 課 及 び 薬 剤 部		
	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医 事 課	
		医療に係る安全管理のための指針の整理状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び 病院業務課	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部及び 病院業務課		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部及び 病院業務課		

		保管場所	分類	方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部及び病院業務課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部及び病院業務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部及び病院業務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部及び病院業務課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

(平成 21 年 10 月 1 日現在)

閲覧責任者氏名	病院事務部長 西岡隼人
閲覧担当者氏名	病院管理課長 前田良兒, 病院管理課長代理 田中和寿
閲覧の求めに応じる場所	応接室兼診療情報等閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績 (平成 20 年度分)

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

(平成 20 年度分)

紹介率	82.0%	算定期間	平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日
算出根拠	A: 紹介患者の数		14,107 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,822 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,725 人
	D: 初診の患者の数		21,451 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をB、Dの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれ延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員：</p> <p>医療安全管理部 専任：1名 兼任：5名 (専任：医療安全管理者(1名)、兼任：部長(1名)、部員(1名) 医薬品安全管理責任者(1名)、医療機器安全管理責任者(1名)、看護師(1名))</p> <p>感染制御部 専任：1名 兼任：8名 (専任：病院感染対策者(1名)、兼任：部長(1名)、感染制御担当医師(2名)、 感染制御担当職員(4名)、部員(1名))</p> <p>※ 医療安全対策にかかる事務部署：病院事務部病院業務課(4名)</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① インシデント・アクシデントについての情報収集・分析・評価 ② 医療事故防止及び感染防止のための研修・教育 ③ 医療事故や病院感染発生の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導 ④ 医療事故及び病院感染を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック 及び評価を行うこと ⑤ 医療安全対策の推進にかかること、連絡調整に関すること ⑥ 医療安全に関する調査の実施 ⑦ 個々の事例のコンサルテーション</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>安全管理に関する基本的考え方 安全管理のための委員会に関する基本的事項等</p>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年39回
<p>医療安全対策委員会(12回)、医療事故防止委員会(14回)、病院感染防止委員会(13回)</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全対策の検討に関すること ② 医療事故並びに病院感染の分析及び再発防止策の検討に関すること ③ 医療事故防止並びに病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関すること</p>	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年28回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>業務から起こりうる事故や感染を知り、事故及び感染防止対策が実践できること</li> <li>安全に対する意識の向上</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>① レンタル機器設置時の研修の確立</li> <li>② インスリンの安全対策ワーキンググループの設置</li> <li>③ インスリン・スライディング・スケールの院内標準化</li> <li>④ 危険薬の定義と危険薬のリスト作成</li> <li>⑤ 病院所有外の医療機器を院内で使用する場合の手続きの確立</li> <li>⑥ 自殺防止マニュアルの一部改訂</li> <li>⑦ 医薬品安全使用のための業務手順チェックリストの作成</li> <li>⑧ 病院感染防止対策に関する院内巡視要項の一部改訂</li> <li>⑨ 病院感染防止対策に関するマニュアルの一部改訂</li> <li>⑩ アレルギー対策のシステム化</li> <li>⑪ 標準化低血糖の対応</li> <li>⑫ ポケット医療安全マニュアルの改訂 (第3版)</li> </ul> </li> <li>平成21年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全対策マニュアルの整備</li> <li>② ポケット医療安全マニュアルの改訂 (第4版)</li> <li>③ 手術器具遺残防止策 (カウントマニュアルの見直し、タイムアウトの導入)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>※ 本院では、医療に係る安全管理の指針と一体的に策定している。</p> <p>安全管理に関する基本的考え方</p> <p>安全管理のための委員会に関する基本的事項等</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年25回
<p>医療安全対策委員会（12回）、病院感染防止委員会（13回）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全対策の検討及び研究</p> <p>② 病院感染の分析及び再発防止策の検討に関すること</p> <p>③ 病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関すること</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>麻疹・水痘の院内感染対策</p> <p>感染性を含む廃棄物の分別について</p> <p>針刺し事故対策について、感染症治療の基本</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>① プリオン病感染防止策に関する改定</p> <p>② 「インフルエンザ相談コーナー」の設置</p>	



医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年4回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 不適切な院外処方せんについて</li> <li>② 危険薬と麻薬について</li> <li>③ 持参薬に関する患者安全確保</li> <li>④ 危険薬の薬剤エラー防止</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有)・無)</li> <li>・ 業務の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 医薬品の採用</li> <li>② 医薬品の購入管理</li> <li>③ 医薬品の管理</li> <li>④ 与薬指示・調剤</li> <li>⑤ 患者に対する与薬や服薬指導</li> <li>⑥ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱い (収集、提供)</li> <li>⑦ 他施設との連携</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ((有)・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 薬剤師による処方への疑義照会</li> <li>② 薬剤師による病棟及び外来の院内ラウンドの実施</li> <li>③ インスリン・スライディング・スケールの院内標準化</li> <li>④ 危険薬の定義と危険薬のリスト作成</li> <li>⑤ 医薬品安全使用のための業務手順チェックリストの作成</li> </ul> </li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年21回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 輸液ポンプとシリンジポンプ</li> <li>② A E D</li> <li>③ 人工呼吸器</li> <li>④ 心電図</li> <li>⑤ 医療ガスと医用電気</li> <li>⑥ 酸素療法</li> <li>⑦ 除細動器</li> <li>⑧ 医薬品注入コントローラー</li> <li>⑨ 血液浄化装置</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有)・無 )</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人工心肺装置</li> <li>② 血液浄化装置</li> <li>③ 人工呼吸器</li> <li>④ 除細動装置</li> <li>⑤ 閉鎖式保育器</li> <li>⑥ 診療用高エネルギー放射線装置</li> <li>⑦ 診療用放射線照射装置</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ((有)・無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 臨床工学部を設置し体制を確保したこと。</li> <li>② 医療機器の安全管理のための体制確保に係る業務手順書を作成</li> <li>③ 適切な保守を含めた包括的な管理のために医療機器管理システムを導入</li> <li>④ レンタル機器設置時の研修の確立</li> <li>⑤ 病院所有外の医療機器を院内で使用する場合の手続きの確立</li> <li>⑥ 医療機器に関する情報の収集及び提供体制の確立</li> </ul>	